

勉強とは何か？（本質的な問い）

通番	区分	テーマ	ねらい・概要	スライド	使用教材
	I・II		クラスによって「問い」が異なってくる。勉強について考えてみたいという生徒が多かったクラスにおいて「勉強とは何か」という本質的な問いについて考えた		

時間	スライド	ファシリテーション・生徒の活動・留意点など																
10分	<p>「勉強」について考える</p> <p>学校の「勉強」と社会に出てからの「勉強」では違いがあるのだろうか？ もし違うのであれば何が違うのだろうか？</p> <p>問い 習字前思考から 「勉強とは何か？」（根本編）</p> <p>個人ワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分がイメージする「勉強」について、自分なりに表現してください。 2 次にあげた「基礎のづくりの問い」を参考に、問い「勉強」について多方向から考えてください。 <p>問いのデザイン 文部科学省 国語教育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>「これが勉強」と表現した体験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経験</td> <td>「勉強」も「勉強」する要素を挙げる</td> </tr> <tr> <td>概念</td> <td>「勉強」に似た言葉、別の言葉には何かあるか</td> </tr> <tr> <td>規範</td> <td>似た言葉と勉強とは何が違うか ○○は勉強か</td> </tr> <tr> <td>言葉</td> <td>言葉的に「勉強」の定義は何か</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>「勉強」の活動は何か</td> </tr> <tr> <td>異文化</td> <td>他国・他地域で「勉強」の定義や考え方は</td> </tr> <tr> <td>歴史・技術</td> <td>「勉強」の歴史は 過去の「勉強」とは</td> </tr> </tbody> </table> <p>「学校での勉強」について</p> <p>私たちは、授業で先生の説明をなんとなく受身で聞いてきてきました。いわゆる「説明」の方はいかに聞いて、「覚えるにどうしたらいいか」ということだけを熱心に聞き、あとは練習問題や応用問題をたくさんこなして、「あ、あの問題はこうやれば解ける」というカンがついたところで満足して、次へ進んできたのではないのでしょうか？</p> <p>問い 習字前思考から 「勉強とは何か？」（親バージョン）</p> <p>授業あなたのお子さんか、彼のように聞いてきました。あなたはどう答えましたか？</p> <p>「クラスでトップ校にいけるのはせいぜい〜」と、この言葉が勉強してもトップ校には行かない。そんなことを言われた高校に行くために勉強して何が意味があるの？」</p> <p>問いのデザイン 文部科学省 国語教育</p>	種類	「これが勉強」と表現した体験	経験	「勉強」も「勉強」する要素を挙げる	概念	「勉強」に似た言葉、別の言葉には何かあるか	規範	似た言葉と勉強とは何が違うか ○○は勉強か	言葉	言葉的に「勉強」の定義は何か	活動	「勉強」の活動は何か	異文化	他国・他地域で「勉強」の定義や考え方は	歴史・技術	「勉強」の歴史は 過去の「勉強」とは	<p>あるクラスの生徒が出した「問い」の中に「教科〇〇を学ぶ意味」とか「なぜ勉強するのか」があった。</p> <p>このような観点から今回は「勉強とは何かについて」考える</p> <p>「本質的な問い」について McTighe and Wiggins “Essential Questions” には「本質的な問い」の諸条件として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンエンドな問いであること （唯一の正しい回答はない） ・ 思考を誘発し、知的に興奮させるもの ・ より高次の思考を誘発するもの （分析や、評価、推論など） ・ 重要で転移可能な概念を指し示すもの ・ さらなる問いを生み、より深い探究の火をつけるもの ・ 答えそのものではなく、根拠や裏づけとなる情報を必要とするもの ・ 生涯にわたって何度も問い直しをされるものということを踏まえ、足場づくりの問いとともに生徒に考えさせる <p>勉強について、従来の教科の授業とこの「未来創造」の授業と相違を含めて考えてみる</p> <p>親になった場合を想定し、自分の子どもから聞かれたときのことを考えてみる</p> <p>クラスで出された「勉強」に対する考えを共有する</p>
種類	「これが勉強」と表現した体験																	
経験	「勉強」も「勉強」する要素を挙げる																	
概念	「勉強」に似た言葉、別の言葉には何かあるか																	
規範	似た言葉と勉強とは何が違うか ○○は勉強か																	
言葉	言葉的に「勉強」の定義は何か																	
活動	「勉強」の活動は何か																	
異文化	他国・他地域で「勉強」の定義や考え方は																	
歴史・技術	「勉強」の歴史は 過去の「勉強」とは																	
20分																		

30分

「勉強とは？」振り返り

学習	学習 大学や社会に行くため 遊ぶため
選択	将来の選択や可能性を確保するため
知識	知識を増やし活用するため
思考力	自分で考えることが可能になるため
生きる	生きる目的を見つめる 離れたいため
競争力	やりたくないこと、足動力をつける
現実	弱さなくない常識をつける 社会の評価

学ぶものが決められているのが学校の勉強
学ぶものを自分で決められるのが社会の勉強

自分の好きなことを学ぶこと。
嫌々やることは作業だと思おう。

勉強とは
世界を平和にするための第一歩

「学園というのは人間を盛り立てるものじゃなくて自分の小ささを知るためにある」自分にとっては学ぶことが全てと賞いたくなるほど大きな存在なので勉強について考えると雑わらなくて今の私では卒業させて自分の考えを上手く言葉に出さなせん。ただこの言葉を聞いた時に初めて自分の考えと一致しているような感覚になりました。



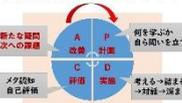
40分

AI時代には教育も変わらなければならない
「誰もか認める既存の正答を誰よりも速く答える力」これがエリート力、しかしこれは全てAIが行なう
「これまで誰も出会ったことのない想定外の問題に立ち向かう力」これが創造力で未来創造で鍛える力。

受動的な学習のPDCAサイクル



主体的な学習のPDCAサイクル



どのような考え方に共感できるか、または同意できないか？

今まで勉強することによって、自分の何が変化したか、グループの意見を聞いて自分の考えに変化が見られたか？

時代が変われば勉強や教育も変わる必要があるのか？

「教育について考える」の単元とも関連する事項が多いので、つながりを持って学ぶ

「受動的な学習」と「主体的な学習」の違いについて考える

テーマを与えられた学習は自分が行うのは、PDCAの「DO」の部分だけ → 次のPDCAにつながらない

自分の問いを創ることはPDCAのすべて自分が行うことになる
特に「C」については、他者との比較ではなくなる

本日の授業で気づいたこと考えたことを出口チケットにまとめておく